

# やさいレポート（令和8年1月号）



## はくさい



発行日：令和8年1月9日

### 1. 卸売価格の動向

○69 円/kg（1月6日）

➢ 平年比：117%

○1月の価格見通し

平年並みで推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

### 2. 小売価格の動向

○166 円/kg

（12月12日全国平均）

➢ 前月比：85%、平年比：113%

➢ 東京：109 円（1/4 玉）

➢ 大阪：126 円（1/4 玉）

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：12/20（前月 10/20）

➢ 大阪：7/10（前月 6/10）

（機構調べ）

### 3. 家計消費動向

○459g/人（11月全国平均）

➢ 前月比：149%

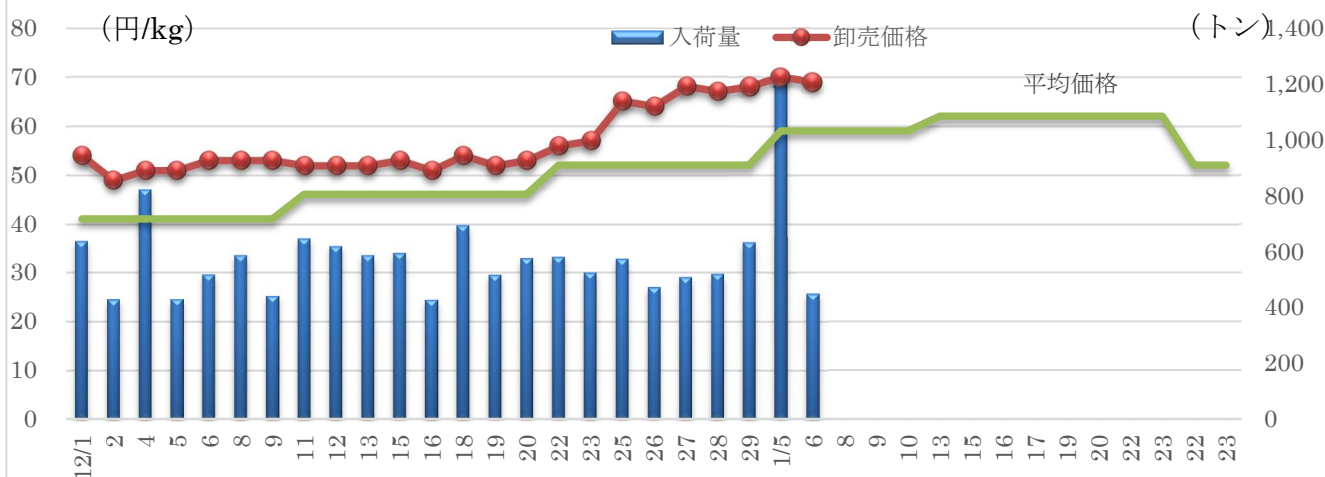
➢ 前年同月比：114%

○2,550g/人（2024 年年間）

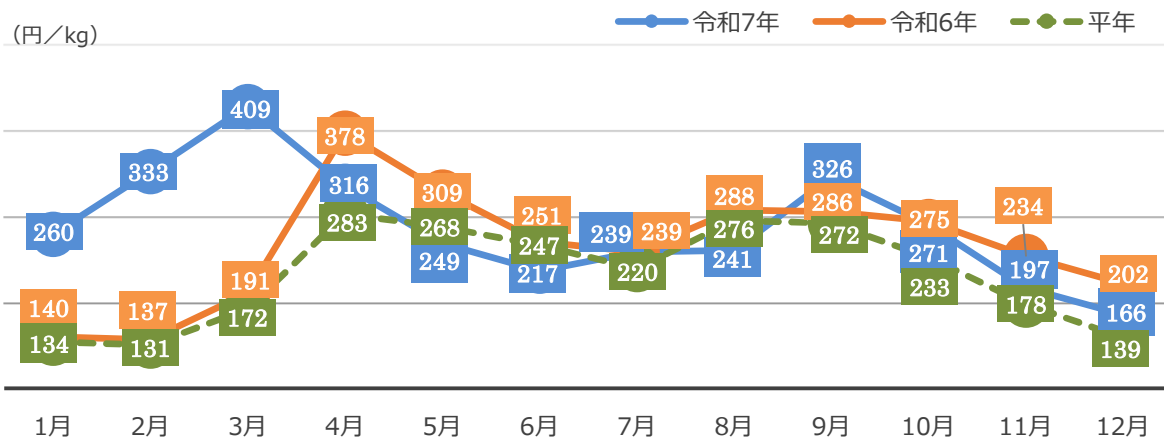
➢ 前年比：92%

（総務省統計局家計調査）

### 4. はくさいの卸売価格と数量の推移（東京都中央卸売市場）



### 5. はくさいの小売価格の推移



## 6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
茨城県常総ひかり (12/16)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
愛知県豊橋市 (1/6)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
三重県四日市、菰野 (11/27)	減少	平年並み～ やや不良	遅い	遅い
兵庫県淡路島 (12/22)	前年並み	平年並み	平年並み	遅い
和歌山県紀の川西部 (12/16)	前年並み	豊作	平年並み	平年並み
大分県日田市 (12/22)	前年並み	平年並み	平年並み	やや遅い

※特記ない場合は平年比。( )内は調査日。

(機構調べ)



愛知県豊橋市：圃場の様子

## 7. 向こう1ヶ月の気象情報 (1/10~2/6)

週別の天候				
1/10~1/16	北日本日本海側では、低気圧の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、低気圧の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 東日本日本海側では、低気圧の影響を受けやすく、また冬の気圧配置の影響を受けやすい時期があるため、平年に比べ曇りや雨または雨の日が多いでしょう。 東日本太平洋側では、低気圧の影響を受けにくいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雨の日が多いでしょう。 西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、低気圧の影響を受けにくいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。			
1/17~1/23	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雨の日が多いでしょう。 東日本太平洋側では、低気圧の影響を受けにくいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 西日本日本海側では、低気圧の影響を受けにくいため、平年に比べ曇りや雨または雨の日が少ないでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
1/24~2/6	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雨の日が多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低20 並40 高40% 平年並みが高い見込み	少20 並40 多40% 平年並みが多い見込み	少40 並40 多20% 平年並みが少ない見込み
	太平洋側	低20 並40 高40% 平年並みが多い見込み	少20 並40 多40% 平年並みが多い見込み	少40 並40 多20% 平年並みが少ない見込み
東日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少20 並40 多40% 平年並みが多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並みの見込み
	太平洋側	低20 並30 高50% 高い見込み	少60 並30 多10% 少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
西日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並みが多い見込み
	太平洋側	低20 並30 高50% 高い見込み	少60 並30 多10% 少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並みが多い見込み

(気象庁1カ月予報)

## 8. 輸入動向 (はくさい)

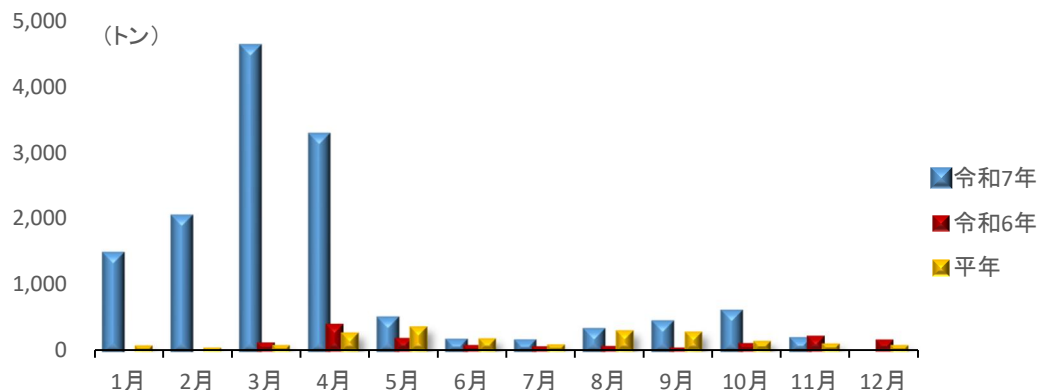
○149 t (11月輸入量)

➢ 前年同月比：73%

○輸入先国ベスト3

全量、中国からの輸入

(財務省貿易統計)



## 9. 一口メモ

12月は、茨城産の秋冬はくさいの出荷ピークで潤沢な入荷となった。価格は平年並み、年末年始の需要もあり下旬にやや上昇した。

1月は引き続き茨城産が中心となる。夏場の高温干ばつの影響で根の張りが弱く、巻きがゆるいため小玉傾向だが生育は概ね順調。出荷数量・価格は平年並みで推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課